

作業部会等の結果と今後の審議会の予定

(1) 第 11 回作業部会の開催概要

平成 27 年度 南三陸町総合計画審議会・作業部会（第 11 回）	
日 時	平成 27 年 10 月 5 日（月） 18 : 00 ~ 20 : 00
場 所	南三陸町役場大会議室 C
次 第	1 開会、挨拶 2 報告事項（第 10 回作業部会の報告、第 5 回審議会の報告、平成 27 年度「南三陸町のこれからのまちづくり」意向調査結果の概要について） 3 検討作業（基本構想素案、基本計画素案） 4 連絡事項 5 閉会
出 席	出席委員数 6 名
検討結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 基本構想、基本計画の素案について、前回時点からの修正箇所等を中心に内容を説明した上で、各委員から意見をいただいた。 ■ 検討結果は、別紙 1 「基本構想素案、基本計画素案」にまとめた。



基本構想素案、基本計画素案についての意見

項目	意見
基本構想 第1章 南三陸町のまちづくりが目指すこと 2 まちづくりの視点 LP-3 産業のブランド化	<p>○「産業のブランド化」について、「世界に知れ渡った」という言葉から始まるが、知れ渡ったきっかけは東日本大震災である。遺族のことを考えると、このような肯定的な表現で始めて良いのかと思った。この表現無しでブランド化の意図を伝えられるならば、その方が誰もがそうだと思えるのではないか。または「世界に知れ渡った」を「森里海の豊かさの中にある（息づく）」に代える方が、ブランドの実現につながるのではないか。</p>
基本構想 第3章 土地利用のあり方	<p>○JR 気仙沼線について、町長は「鉄道復旧しないとは言っていない」との意向であるようだ。荒町あるいは南三陸ホテル観洋まで来れば観光の受け皿になるのではないか。高齢者にとってみれば汽車の方が観光にとってよい。隣接する登米市や気仙沼市には鉄道があり、ないのは本町付近のみなので、町長は消極的だがアピールしていくべきではないか。</p>
基本計画 第1章 リーディングプロジェクト LP-1 移住・定住人口の増加プロジェクト	<p>○サブテーマが「少子高齢化からの脱却を目指すために」となっている。少子化問題はともかく、高齢化は今後も続くので、一緒くたに表現しなくて良いのではないか。高齢者はいらぬという印象も受ける。大事なものは人口規模ではなく年齢構成のバランスであると思うので、「ほどよい人口構成を目指すために」とできないか。または、どの世代も大事であり、それぞれ役割があることを示すため「三世代で知恵を回し続ける」とできないか。</p>
基本計画 政策2 産業振興・自然環境	<p>○副題が「なりわいや賑わいと潤いのあるまちづくり」と言葉が並んでいるだけで、的が絞られておらずわかりにくい。賑わいと潤いを生み出すのは自然環境なので、「町の資源を活かした潤い（または賑わい）あるまちづくり」等にしてはどうか。「潤い」には「色々な意味で潤っている」という意図を含めている。「資源を活かした」は計画書内の様々な箇所で見られるので、計画全体としても統一される。</p>
基本計画 施策2-8 道路・公共交通網の充実	<p>○志津川高校が「モアイ化計画」で、町民バスを購入できる規模の寄付金を集めた。以前運行していた「いしやり君」に代わるような運行ができるかはわからないが、いただいたバスの使い方が気になる。</p>
基本計画 施策3-5 子育て支援の充実	<p>○主要事務事業③「学童保育の充実」に「歌津学童施設整備事業」が挙げられているが、志津川地区の人がこれを見ると、なぜ歌津だけ施設を整備するのかと思ってしまう。</p> <p>○主要事務事業②「ひとり親家庭支援事業」があるが、両親ともいない場合の支援はどこで取り組んでいるのか。</p>
基本計画 施策4-2 スポーツの振興	<p>○「プロジェクト推進のための主な事業群」に、スポーツ等の事業を取り入れられないか。高齢化が進んだから病院を増やすのではなく、年を取っても病氣しない、高齢者がいつまでも元気でいられる事業をできないか。子育ての面でも、単に必要な施設を整備するのではなく、そのようなソフト事業が何かあれば付け加えてはどうか。</p>
基本計画 第2章 個別政策	<p>○「ユニバーサルデザイン」という言葉をどこかに入れてほしい。</p>

(2) 南三陸町議会全員協議会での素案説明について

日時	平成27年10月14日(水) 14:10~14:55
場所	議場(南三陸町役場大会議室)
内容	南三陸町次期総合計画(素案)について

議事要旨

項目	意見	意見に対する答弁
基本構想 全般	<ul style="list-style-type: none"> ○素案については、この計画が実行できればよろしい。 ○内容については了解した。計画を実行するにあたり、国の政策として行ってほしい要望等はあるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○素案作成にあたり、審議会、作業部会の委員は町民代表によって構成されており、基本的には町民の間で考えていくことがベースとなっている。 ○ハード事業は計画にあまり含まれていないが、整備した施設を町民の暮らしにどのように役立てていくことを主役に据えて考えている。現段階では、国の施策に足を引っ張れることはない。
基本構想 全般	<ul style="list-style-type: none"> ○防潮堤の役割が今後は作用するものと思われるが、まちの基本構想に影響はないのか。 ハードを活かした、ソフト事業であり、キャッチコピーは、「いのちまもる」ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防潮堤もまちを守る一つのツールであり、防潮堤工事は着々と進んでいる。まち独自の計画の中に表現を表記した方がよいかは検討が必要である。
基本構想 第1章 南三陸町のまちづくりが目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ○【森里海】「分水嶺に囲まれた本町は、森林から流れ出した水が川を通り、志津川湾に続いています。」と記載されているが、審議会等で、歌津湾の記載がなかったことの見解は出てこなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「歌津湾がない」とのことであるが、そのような話は委員からは出ていない。 ○分水嶺に恵まれた町なので、自然環境を最大限生かした内容をまとめている。(※歌津湾という名称はない。)
基本構想 第1章 南三陸町のまちづくりが目指すこと	<ul style="list-style-type: none"> ○町の将来像で、「森里海いのちめぐる南三陸」については、以前の「キラリとひかる……」と同様にまちのキャッチコピーとなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○そのように解釈されてよい。 法律改正で、まちの基本構想を策定しなくてもよいとはなっているが、基本的な理念が拠り所して必要であり、策定義務はないが、総合計画のキャッチコピーを作業部会の委員の意見を取りまとめて策定している。
基本構想 第3章 土地利用のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○国道398号で、石巻方面(神割崎方面)がゾーンとして入っていない。審議会等で疑問視されてなかったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸倉地区のゾーンについては、内部で検討中である。その他、各種計画内容については、チェック中である。

項目	意見	意見に対する答弁
基本計画 第2章 個別政策	○「今後の財源の調整により、主要事務事業を絞り込んで、見直しする可能性がある」と書いてある。財源の裏付けを度外視で、アイデアを出して、ふるしきを広げている状態なのか。また、これからふるい落とされていくのか。絞り込みする場合に障害となるものがあるのか。	○各課へすべてを照会して、取りまとめており、素案は審議会、作業部会の皆様の意見をいただいている。 ○その他、若年層アンケート、小学生から高校生のインタビュー、町内主要団体のヒアリングを行った内容を含めて基本構想へ網羅している。 ○障害ではないが、事業を列記するにあたって、毎年行っている定例的な事業を計画に含めることについては、絞り込みを行っていく必要はあると考えている。
基本計画 第2章 個別政策	○なるべく多くの方の意見を取り入れているようである。パブリックコメント、審議会等の意見を取り入れながら、議会に対しての説明を通して計画を策定し、町民との共通理解を得るようにはしていただきたい。 ○絞り込みを行っていく場合は、なるべく多くの枝葉を残していただき、財源的な問題も含めて、会議の透明性や手順に留意していただきたい	
基本計画 第2章 個別政策	○フローチャートのように政策名が表示されているが、上に行くほど事業の優先順位を高くしているのか。	○上、下の表示で、事業の優先順位はない。

(3) 今後の総合計画審議会の予定

回	日程	主な議題等
第6回	10月23日(金)	・基本構想案 ・基本計画案
第7回	11月17日(火) 13:30~15:30 大会議室	・基本構想答申案 ・基本計画答申案